

がんプロ全国 e-learning クラウドを 使ってみませんか？

ーシステムの概要とメリットー



目次

はじめに	1
がんプロ全国 e-learning クラウドの特徴	2
がんプロ全国 e-learning クラウドを使用することのメリット	4
学生の授業単位として e-learning 講義を利用するには	5



はじめに

2013年度より、38単位の専門看護師教育課程が開始となりました。安定した教育課程運営、学生のメリット、教育エフォートの適切な配分等を考え、「がんプロ全国 e-learning クラウド」では、専門看護師教育で利用可能な e-learning 授業を数多く作成し組み込んでいます。みなさんの大学でもぜひ使ってみませんか？



▲ がんプロ全国 e-learning クラウドのログイン画面

■ まずは試しに、がんプロ全国 e-learning クラウドをのぞいてみてください！



<https://pj2.md.tsukuba.ac.jp/>

がんプロ全国 e-learning クラウド参加大学の教員であれば、授業での活用の有無に関わらず、聴講することができます。自大学がんプロ事務局に問い合わせ、ユーザ ID を発行してもらってください。

☆自大学ががんプロ全国 e-learning クラウドに参加しているかどうかは、上記 URL の上部「参加大学一覧」で確認してください。(赤枠よりリンク)

がんプロ全国e-learningクラウドの特徴

■ 特徴1：大学院授業用の優れた e-learning 講義システム

ID 管理された e-learning 講義システムであり、各大学の教務課が学生の聴講状況を把握し履修管理することができます。もちろん、学生も自身の進捗状況を確認することができます。



▲がんプロ全国 e-learning クラウドのホーム画面：学生用

教員は学生とシステムを共有して、聴講進捗状況や聴講履歴の把握、ミニテストの実施、質問の受付などを行うことができます。



▲実際の講義の聴講画面

システム管理は、筑波大学が行うため、利用大学はシステムへのユーザ ID や講義の登録・管理と履修管理を行うのみです。

■ 特徴2：全国がんプロ13拠点87大学が参加するプログラムジュークボックス

「プログラムジュークボックス」とは、ひとつの講義項目について、複数の大学が講義を出し合う仕組みのことです。複数の大学が講義を出し合うことで質の高い講義が集まり、学生はそこから必要な・望む講義を選択して受講することができます。



▲ プログラムジュークボックスの概要

がんプロに所属している大学であれば、自大学でも e-learning 講義を収録し、プログラムジュークボックスに入れることができます。

看護関連の講義は、日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程の科目立てに準拠したものとしています。



▲ ジュークボックス一覧の画面

■ 特徴3：3P科目を含めた、質の高い授業が充実

筑波大学を主幹とする国際協力型がん臨床指導者養成拠点では、筑波大学・千葉大学・群馬大学が協力して、「3P科目（フィジカルアセスメント、病態生理学、臨床薬理学）」で活用可能な講義を、2015年度内にすべて収録する予定です。

3P科目以外にも、がん医療に関する多くの専門領域（腫瘍内・外科学や放射線腫瘍学など）の科目・講義を用意しています。

がんプロ全国 e-learning クラウドを使用することのメリット

■ 教員にとってのメリット

- 教育内容の充実

e-learning 講義を中心とした科目を構成したり、e-learning 講義を対面授業の教材として活用したりなど、色々な使い方が考えられます。これによって、教育内容の充実が期待できます。e-learning 講義を通して学生に必要な知識を提供した上で、討議により、さらに学生の知識を深めることができます。

- 教育エフォートの適正配分

専門看護師教育課程の科目立てに準拠した e-learning 講義をそろえているため、科目構成を考えやすくなっています。また既に出来上がった e-learning 講義を活用することで、毎回の授業準備にかかる時間を他の教育に回すことができます。

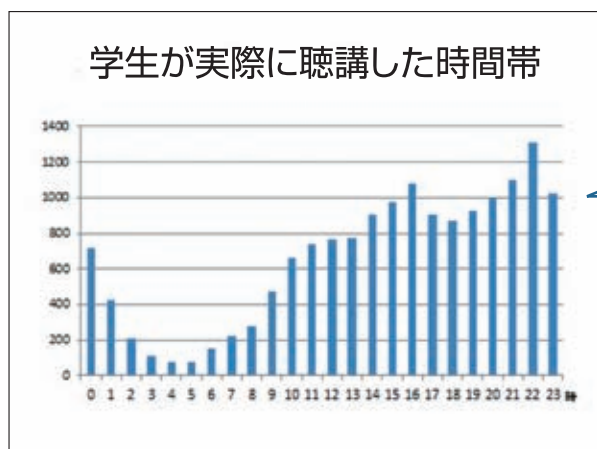
- 非常勤講師依頼の減少

これまで非常勤講師にお願いしていた講義を e-learning 講義とすることによって、日程調整の煩雑さや費用を抑えることができます。

■ 学生にとってのメリット

- いつでもどこでも！

インターネットに接続できる環境があれば、学生はいつでもどこでも講義を聴講することができます。



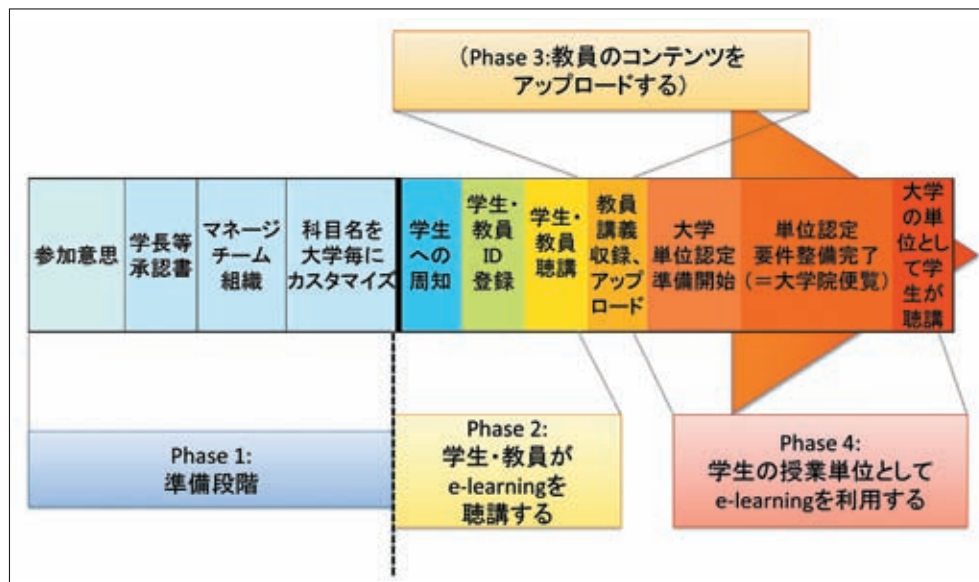
夕方から夜間にかけて、
聴講が多い傾向にあります。

- 何度でも聴講できる

一旦止めて調べたり、何度でもくり返し聴講したりすることができるため、学生は自分の理解度やペースに合わせて学習できます。

学生の授業単位として e-learning 講義を利用するには

- 学生の授業単位として e-learning 講義を利用するまでには、以下のプロセスが必要となります。



- 各 Phase で教員に実際にしていただきたいことは、次のとおりです。

Phase 1 : 準備段階

- 所属大学の準備状況を確認する。

Phase 2 : 学生・教員が e-learning を聴講する

- 学生に e-learning 講義に関する情報を伝える。
- 学生に ID・パスワードを取得させ、e-learning 講義の聴講を促す。
- 教員も ID・パスワードを取得し、必要に応じて e-learning 講義を聴講する。

Phase 3 : 教員のコンテンツをアップロードする

- できれば自分でも e-learning 講義を作成し、収録・アップロードをする。

Phase 4 : 学生の授業単位として e-learning を利用する

1. 大学院教務と単位化の要件について調整
(e-learning 単独、e-learning + レポート、e-learning + 講義などの)
2. 大学院教務委員会を通す
 - 各科目の構成、シラバスの作成
 - 科目ごとの責任教員の設定
3. 大学院便覧への収載
4. 学生からの単位申請受付
5. 学生の聴講履歴のダウンロード
6. 科目担当教員による単位認定



がんプロ全国 e-learning クラウドについてのご質問・ご相談はこちらへ

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

国際協力型がん臨床指導者養成拠点 看護部門担当

筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻

がん看護分野 教授 水野道代 michiyo0611@md.tsukuba.ac.jp

助教 笹原朋代 tsasahara@md.tsukuba.ac.jp

☆どんなことでも構いませんので、お気軽にお問い合わせください！